

主要幹線道路の交通規制を伴う 大型クレーンによる一括架設

日本橋梁建設土木施工管理技士会
株式会社横河ブリッジ

現場代理人

大林 茂[○]

Shigeru Ohbayashi

監理技術者

大森 政良

Masayoshi Ohmori

1. はじめに

工事概要

- (1) 工 事 名：平成21年度23号納所跨道橋鋼上部
工 事
- (2) 発 注 者：国土交通省中部地方整備局
- (3) 工事場所：三重県津市納所町
- (4) 工 期：平成21年9月11日～
平成23年2月28日

本工事は、国道23号（中勢バイパス）と津芸濃大山田線（県道42号）の交差部分における中勢バイパスの立体化工事で、鋼3径間連続非合成箱桁橋の上部工架設工事である（図-1）。

中央径間部は、県道42号を夜間通行止め及び国

道23号の交通規制を実施した架設及び足場組立作業である。

本報告では、主要幹線道路の交通規制を伴う上部工架設工事における問題点とその解決方法について記述する。

2. 交通規制及び架設作業の問題点

1) 交通規制について

国道23号と伊勢自動車道津ICにアクセスする県道42号線は、昼夜を問わず非常に交通量が多い道路である。また作業工程上、更に交通量の増加が見込まれる、12月中旬に規制を伴う架設作業を実施することになった。

それにより、交通規制時間（夜間作業時間）、

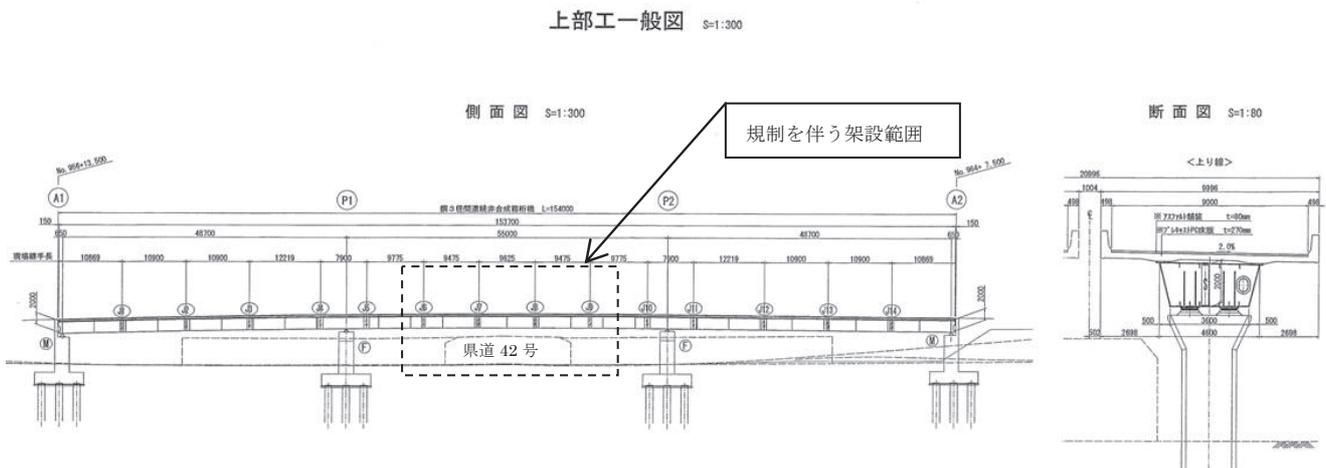


図-1 上部工一般図

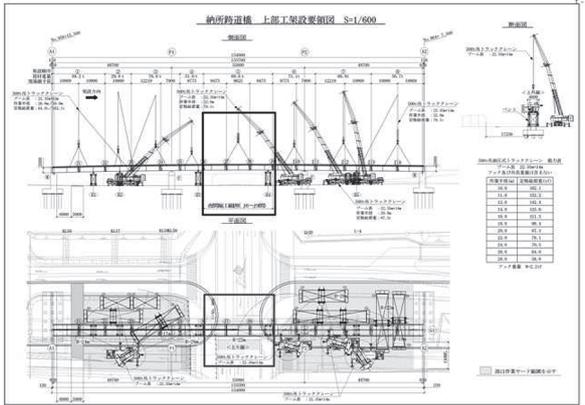


図-3 架設要領図



図-4 架設完了全景写真図

4. おわりに

今回の交通規制を伴う架設作業は、発注者ならびに関係各所様のご協力やご指導及び各協力会社との作業連携が円滑に進み、無事故で完了することが出来た。

制約の多い作業には、些細な事でも事前確認を実施し、綿密な作業手順や計画を実施することの重要性を再認識した工事であった。

最後に、発注者様ならびに関係各所様、協力会社の皆様に感謝申し上げます。